

第44回支部発表会プログラム

日時: 2023年3月5日(日)09時30分開始

会場: 福岡管区気象台をホスト会場にZoomによるオンライン開催

全体司会(支部事務局)

開会挨拶:

日本気象学会九州支部 支部長 中本能久 09:30-09:40

事務連絡(支部事務局) 09:40-09:50

発表番号	発表者	著者	タイトル	発表時刻	予稿集ページ
ジュニアセッション 座長:木村 誠治(支部事務局長:福岡管区気象台観測課課長)					
1	とくまる りょうた 徳丸 亮汰(1) ()内は学年	熊本県立宇土高等学校 *徳丸 亮汰(1)、本田 琢磨(1)、新宅 草太(1)、小林 瑞(1) *は発表者	浮島現象発生の条件と原理 ~再現実験からの検証~	09:50-10:05	8-9
2	しんたく そうた 新宅 草太(1)	熊本県立宇土高等学校 *新宅 草太(1)、小林 瑞(1)、徳丸 亮汰(1)、本田 琢磨(1)	海陸風は吹いているのか ~不知火海を吹く風を探る~	10:05-10:20	10
3	ひやみず かずや 冷水 和哉(2)	鹿児島県立国分高等学校 *冷水 和哉(2)、山迫 真朱(2)、中島 絢花(2)、中金 章人(2)、山口 琥珀(2)、野田 竜馬(2)	次の桜島大噴火時の降灰を予想する ~上空に吹く風の研究II~	10:20-10:35	11-12
4	あらき しゅか 荒木 珠花(2)	鹿児島県立国分高等学校 *荒木 珠花(2)、岡村 咲香(2)、吉満 楓(2)、古江 悠真(2)、田方 莉瑚(2)、山神 聖矢(2)	月食時の月の明るさの研究 ~月食とエアロゾルの関連性を中心に~	10:35-10:50	13-14

10:50-11:00 休憩(10分)

発表番号	発表者	著者	タイトル	発表時刻	予稿集ページ
支部発表会 セッション1(観測技術) 座長:望月 崇(九州大学大学院理学研究院准教授)					
5	はら ゆかり 原 由香里	*原 由香里(九州大学応用力学研) 弓本 桂也(九州大学応用力学研)、神 慶孝(国立環境研)、田中 泰宙(気象庁)、眞木 貴史(気象研究所)	2022年12月に観測された冬の黄砂	11:00-11:20	16-17
6	たけもと ゆうたろう 竹本 祐太郎	*竹本 祐太郎 川村 隆一・望月 崇・川野 哲也(九州大学院・理)	黄海を通過する台風が朝鮮半島周辺海域の海水温と表層流に与えるインパクト	11:20-11:40	18
7	ひらみね たくみ 平峯 拓実	*平峯 拓実(九州大学理学部) 今田 衣美(九州大学院理学府地球惑星科学専攻)、中島 健介(九州大学院理学研究院地球惑星科学部門)	微気圧変動の超多点集中観測の試み	11:40-12:00	19-20

午前の部発表終了 昼休み(12:00-13:30)

午後の部発表開始(13:30-14:50)

発表番号	発表者	著者	所属	タイトル	発表時刻	予稿集ページ
支部発表会 セッション2(気候システム) 座長:野口 峻佑(九州大学理学研究院助教)						
8	わたべ しょうた 渡部 勝太	*渡部 勝太(九州大学理学部) 野口 峻佑(九州大学院理学研究院)		鉛直一次元モデルによる赤道成層圏準二年周期振動乱調現象の模擬および感度実験	13:30-13:50	21-22
9	やまぐち しゅうへい 山口 修平	*山口 修平 望月 崇・川村 隆一・川野 哲也(九州大学院理学府)		高解像度の大規模アンサンブルデータセットを用いた熱帯低気圧を要因とする降水分布の将来変化の解析	13:50-14:10	23
10	わたの ゆうだい 和田野 雄大	*和田野 雄大 望月 崇・川村 隆一・川野 哲也(九州大学院理学府)		Super El Niñoが北大西洋とヨーロッパに与える影響	14:10-14:30	24
11	なかや ひかる 仲矢 光	*仲矢 光(九州大学院総合理工学府) 弓本 桂也・原 由香里(九州大応用力学研究)、梶野 瑞王(気象研究所)		気温上昇が黄砂の発生と輸送に与える影響に関する研究	14:30-14:50	25-26

14:50-15:00 休憩(10分)

特別講演:「大気の自由振動について」 廣岡 俊彦 氏(九州大学大学院・理学研究院・教授)				15:00-15:50	28-34
---	--	--	--	-------------	-------

講評及び閉会挨拶 竹村 俊彦 常任理事

15:50-16:00

終了

※時刻は進行状況によって多少前後することがあります。